

## 研修会開催までの流れ

時 期	内 容
平成 28 年 11 月	第 1 回（平成 28 年度）静岡市災害時歯科保健活動研修会の開催
平成 28 年 12 月	災害時歯科保健対策検討会（静岡市静岡歯科医師会・静岡市清水歯科医師会・静岡県歯科衛生士会・静岡県歯科技工士会・静岡市出席）にて研修会の報告。 今後の研修会について相談
平成 29 年 3 月	災害時歯科保健対策検討会（静岡市静岡歯科医師会・静岡市清水歯科医師会・静岡県歯科衛生士会・静岡県歯科技工士会・静岡市出席）にて 平成 29 年度研修会企画案 <sup>※1</sup> を提示。 講師選定。内容は、講師による講演とワークショップに決定
平成 29 年 4 月	講師決定。講師との打合せ（～平成 29 年 9 月 研修会開催まで）
平成 29 年 6 月初旬	災害時歯科保健対策検討会（静岡市静岡歯科医師会・静岡市清水歯科医師会・静岡県歯科衛生士会・静岡県歯科技工士会・静岡市出席）にてチラシ案の提示、決定。 ワークショップの詳細 <sup>※2</sup> を提示。ワークショップのファシリテーター協力を静岡市静岡歯科医師会、静岡市清水歯科医師会に依頼
平成 29 年 6 月末	各団体を通じて、研修会チラシの配布、周知
平成 29 年 8 月	ファシリテーター向け事前説明会の開催
平成 29 年 8、9 月	研修会の開催

※1

### 企画案

<目的>災害時の歯科保健活動について、より具体的なイメージを持ち、大規模災害発生時に落ち着いて歯科保健活動にあたる歯科専門職を養成する

<内容>「講師による講演（約1時間）」と「ワークショップ（50分）」

講演：中久木 康一 先生（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科助教）

ワークショップ：地域の状況を知る。地域でできることを考える。

その他：静岡市作成の「口腔ケアの手順簡易マニュアル」の説明、配付など

参考：「第1回（平成28年度）静岡市災害時歯科保健活動研修会」

<目的>静岡市の災害時医療救護体制（歯科体制）について理解し、大規模災害発生時に歯科保健活動を行う歯科専門職を養成する

<内容>

- ・静岡市の災害時医療救護体制について（20分）
- ・災害時における歯科専門職の役割（20分）
- ・災害時の歯科医師会の体制について（20分）
- ・災害時歯科保健活動（口腔ケア活動）について（15分）

## ワークショップの詳細

## 【ワークショップ全体の目的】

- ①災害発生時の混乱の中、自らの命（周りの人の命）を守るための行動ができるよう地域の状況を把握する。
- ②歯科拠点に参集し、口腔ケアチームで避難所に支援に行った際、巡回先で優先順位をつけ対応する。（「個人」に目を向ける前に「全体」を見るよう意識する）
- ③歯科拠点に参集が難しい場合でも地域でできることを考え行動する。

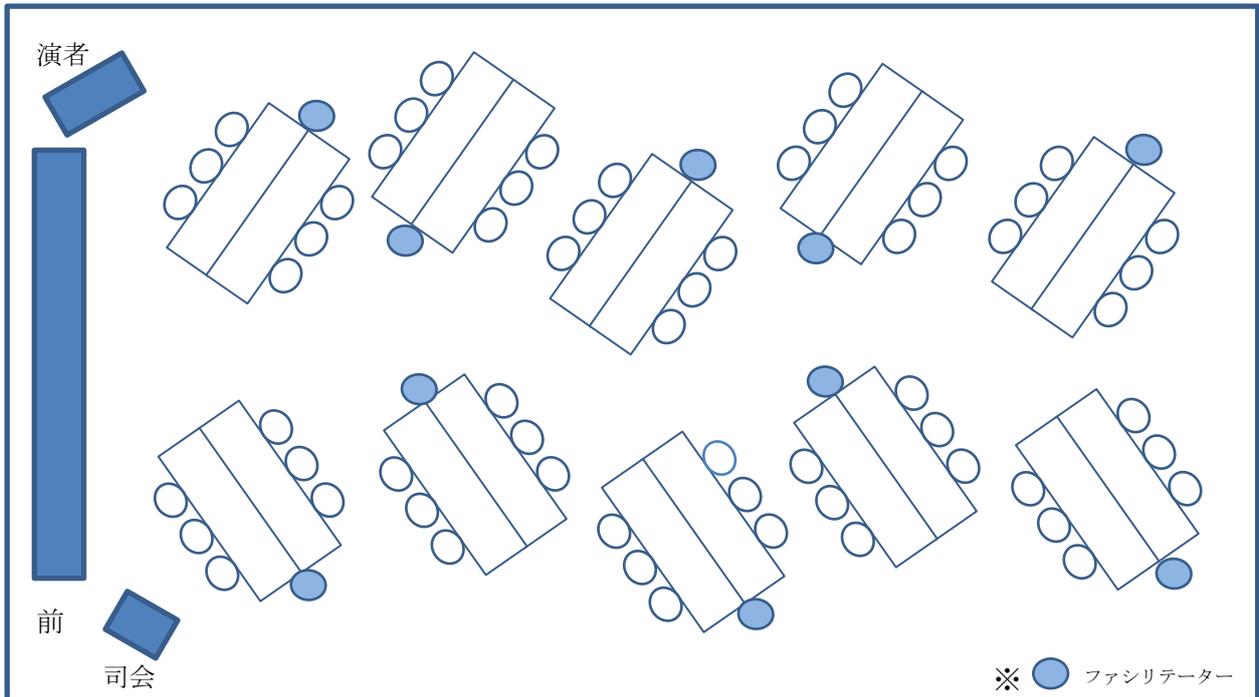
【グループ分け】勤務先の地域包括支援センター圏域でグループ分けを行う。（市内在住で市外勤務等の場合は自宅住所）目安は6人1グループ。

城東保健福祉センター会場：葵9圏域（城西・城東・井川・麻機千代田・長尾川・美和・賤機・服織・藁科）

駿河7圏域（小鹿豊田・八幡山・大谷久能・大里中島・大里高松・長田・丸子）

清水保健福祉センター会場：清水9圏域（港北・興津川・両河内・港南・高部・飯田庵原・松原・有度・蒲原由比）

【レイアウト】人数によってテーブル数、テーブルあたりの人数を調整する



【ファシリテーター】集団活動がスムーズに進むように、支援する人。参加者の発言を促したり、話の流れを整理したり、参加者の同士の認識の一致を確認したりする行為で介入する人。中立的な立場から活動の支援を行う調整役。

【流れ】

<アイスブレイク>参加者に名札（所属・氏名）をつけてもらう。

<ワーク1> 「△△地区（皆さんの勤務先がある地区）の施設状況を把握しましょう！」

時間目安	5分程度
目的	勤務先の包括支援センター圏域の施設状況をあらかじめ把握することで、有事の際に落ちついて行動する。自分や患者の身を守る。
内容	「地域包括支援センター圏域の状況」を見ながら、救護所、救護所兼避難所、一般避難所、乳幼児優先避難所、福祉避難所の情報をグループで協力し、地図にプロットする。
使用物品	該当する「地域包括支援センター圏域」の地図、「地域包括支援センター圏域の状況」カラー丸シール（救護所＝青、救護所兼避難所＝赤に黒丸、一般避難所＝赤、乳幼児優先避難所＝黄色、福祉避難所＝緑、時間が余ったら勤務先の歯科医院＝★）
ポイント	まずは自分（患者等周りの人）の生命を守ることが最優先！

<ワーク2> 「△△地区（皆さんの勤務先がある地区）の被災状況を把握しましょう！！」

時間目安	5分程度
目的	勤務先の包括支援センター圏域の想定される被害を考えることで、事前に対策を練る、有事の際に落ちついて行動する。自分や患者の身を守る。
内容	グループで被害想定を話し合い、付箋に書き出し地図にプロットする。
使用物品	該当する「地域包括支援センター圏域」の地図、「静岡県防災マップ」、付箋、ペン
ポイント	まずは自分（患者等周りの人）の生命を守ることが最優先！

<ワーク3>

①まずは避難所の状況把握をしましょう！どんなところをチェックしたらよいか付箋に書き出し模造紙に貼りましょう

②避難所の状況に対し、支援者（歯科専門職）として、どう行動（対応）したらよいか付箋に書き出しグループで話し合いましょう

時間目安	20分程度（①3分で自分の意見を付箋に書き出す、7分でグループの話し合い） （②3分で自分の意見を付箋に書き出す、7分でグループの話し合い）
目的	混乱している避難所で、支援者としてできることを考える。
内容	支援者としてできることを付箋に書き出し、グループで話し合う。
使用物品	模造紙、付箋、ペン
ポイント	①歯科専門職として支援する前に、避難者の生活の場をチェックする ②避難所の歯や口の問題に優先順位をつけ対応できるようにする。

<発表>2グループ「ワーク③と④について発表してもらおう」（1グループ3分程度）